

峰山砦(Mt押山)・ドキドキの日々を偲ぶ

2014. 10. 21 稲武(押山)歴史探検隊

1) 峰山砦はどこにあった？

豊田市押山町にあるMt押山の三角点(標高775m)にあったと考えられます。
国道257号線で岐阜県に入ったところ(標高320m)から見上げた姿と頂上のようなすを紹介します。



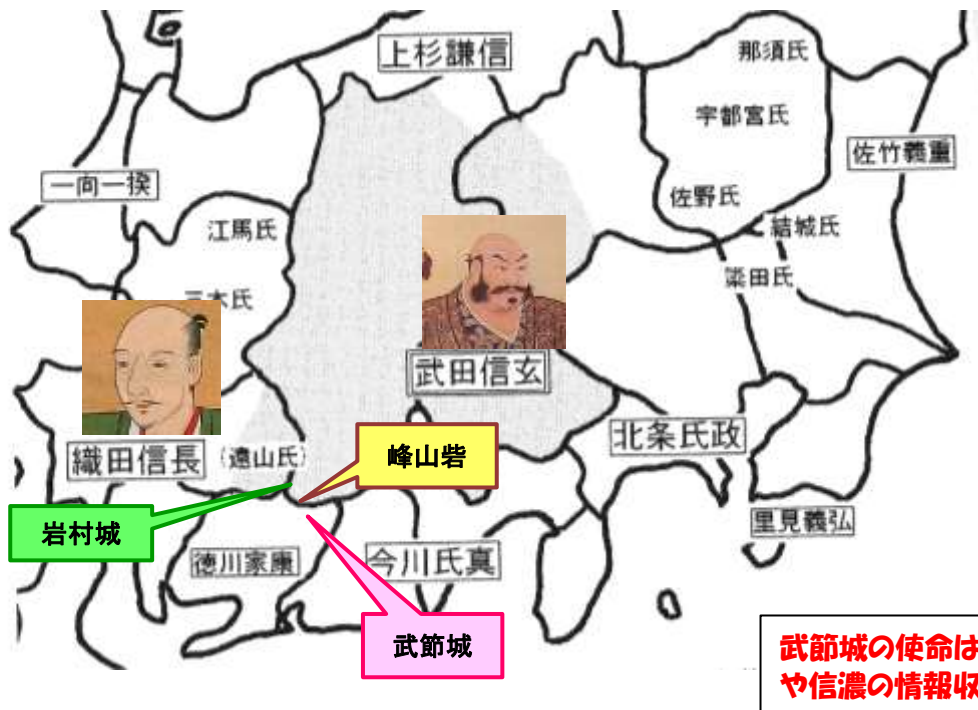
麓から約4km、今は車で頂上の200m下まで行けます



頂上は十分な広さ(1.5アール)の平地です

2) なぜここにあったと言える？

残念ながら峰山砦は戦国時代の文書には登場しません。
しかし、ここは、美濃と三河の境であり、織田・武田・徳川がせめぎ合い各勢力から注目されている地域でした。
永禄11年(1568年)ころの勢力図を見るとそのことがよくわかります。特に**武田信玄の勢力**=薄い色付部分が重要ポイントです。



(この図は丸島和洋氏の「信玄の拡大戦略 戦争・同盟・外交」から拝借し改造使用させていただきました)

この頃、美濃方面の情報は狼煙(のろし)を使い川手・押山城から武節城に伝わったと考えられますが、城・砦の配置を見ると、実は、川手・押山城～九沢砦の間は山に遮られて狼煙は全く使えないことがわかりました。迅速に情報を伝えるためには中継基地としての峰山砦は不可欠だったと言えます。



3) 各砦・城からの眺望

では、実際にそれぞれの城・砦からの眺望はどうでしょうか？ 狼煙連絡が可能だったかを確認してみました。結果は以下のように良好でした。もし、同時に2～3本の狼煙があがったとしても本数が見分けられそうです。



4)この砦のまわりで起きたこと

以下、この砦にとって重要だったと思われるできごとを年表にしました。武節城と岩村城を中心としたのは、峰山砦は武節城の一部であり、また、目の前に広がる上矢作地区は岩村城の支配下だったからです。なお、参考のために関連のある全国レベルの事件も載せておきました。こうしてみると、砦の人々の緊張ぶりがひしひしと伝わってきます。

武節城・岩村城がどの勢力に属したか

西暦	和暦	全国	武節	岩村	できごと	
1505	永正 2		○		田峯(だみね)城主・菅沼定信(又は定忠)が支城として武節城を築く	今川
1555	弘治 1	○			武田勢が奥信濃を制圧して南進。下伊那も勢力下になった。 → 下条信氏(飯田市の近くの吉岡城)も武田方に	
1555	弘治 1			○	岩村城主・遠山景前(かげさき)が武田方と同盟関係に。 (実際には織田とも関係を維持していった=両属(りょうぞく)と言う	(両属)
1555	弘治 2	○			美濃・斎藤道三が義龍に殺害される。美濃は織田信長と戦争状態に。	
1556	弘治 2		○		武節城を下条信氏(武田方)が攻略=武節谷合戦(姫井戸伝説)	武田
1557	弘治 3		○		下条信氏が引き上げ	今川
1560	永禄 3	○			桶狭間の戦い。織田信長が今川義元を破る。 → 徳川家康が今川から独立	
1561	永禄 4		○		田峯城主となった菅沼定吉(=定忠)が徳川方に = 武節城も徳川方に	徳川
1562	永禄 5	○			織田信長と徳川家康が盟約	
1565	永禄 8	○			織田信長の親族の娘を武田勝頼に嫁がせる(織田・武田の休戦の始まり)	
1567	永禄 10	○			織田信長が斎藤義龍を滅ぼし美濃を支配	
				○	この後、岩村城主・遠山景任が信長の叔母と結婚(1550年頃の説もあり) また、信長の子(五男=坊丸)を養子に迎える(1572年説もあり)	織田
1570 (1572説も有)	元亀 1			○	上村合戦 秋山虎繁(武田家臣・伊那郡代)が2千5百の兵で上村に侵入 * 二手に分かれ平谷→飯田洞経由と平谷→根羽→大桑経由 * 遠山勢や東三河勢(山家三方衆など)5千が迎撃したが敗北 * 岐阜から明智光廉が到着したため、秋山勢は撤退	
1571	元亀 2	○			武田・北条同盟成立=信玄に徳川領へ侵攻する余力ができた	
1571	元亀 2		○		田峯城の菅沼定忠が武田方に = 武節城も武田方に	武田
1571	元亀 2		○		武田信玄の大軍通過(根羽~足助) (最近ではこの事実は無かったという説も有力に=鴨川達夫氏など)	武田
1572	元亀 3			○	岩村城主・遠山景任死亡。信長の子=坊丸が城主に	織田
1572	元亀 3	○			三方原の戦い。武田信玄が徳川家康を破る(織田・武田休戦の終わり)	
1573	天正 1			○	岩村城が秋山虎繁の包囲により開城 虎繁と景任未亡人(信長の叔母)が結婚。信長の子は甲斐へ	武田
1573	天正 1	○			武田信玄死亡	
1573	天正 1		○		武節城を徳川家康の長男(信康)が攻略	徳川
1574	天正 2		○		武節城を武田勝頼が攻略	武田
1574	天正 2			○	岩村、明智の遠山(織田方)の18城を武田勝頼が攻略	武田
1575	天正 3	○	○		長篠の合戦。武田勝頼は敗北し武節城経由で逃れる(梅酢湯エピソード)	
1575	天正 3		○		武節城を作手・長篠の奥平親子(織田方)が攻略	織田
1575	天正 3			○	岩村城を織田信忠(信長の長男)が攻略 虎繁と夫人(信長の叔母)は長良川河畔で逆さ磔・火あぶり	織田
1582	天正 10	○			武田家(勝頼)滅ぶ	
1582	天正 10	○			本能寺の変	
1585	天正 13	○			豊臣秀吉が関白に	
1590	天正 18		○		武節城廃城	

森長可(ながよし=信長・秀吉派)による東濃平定

【1573年の岩村開城の異説】

岩村城への軍事介入を強める織田に反発した遠山一族の一部が、信長から離反して武田勢を迎え入れたという説(丸島和洋氏)

【上村合戦の異説】

武田軍が岩村城を占領したのは1572年11月であり、これを織田軍が奪回しようとして12月に上村で起きた合戦が「上村合戦」であるという説(恵那市「岩村城」三宅唯美氏)



岩村城・本丸虎口の石垣(六段壁)



秋山虎繁